



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年7月28日

上場会社名 株式会社 ユタカ技研 上場取引所 東
 コード番号 7229 URL <https://www.yutakagiken.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 勝弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大野 仁 TEL 053-433-4111
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	41,363	9.4	2,255	△20.2	2,502	35.0	1,799	54.6	1,344	64.0	1,813	—
29年3月期第1四半期	37,804	△6.4	2,826	△18.0	1,853	△45.0	1,164	△42.2	820	△49.2	△3,920	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	90.71	—
29年3月期第1四半期	55.32	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	152,683	85,828	74,757	49.0	5,044.80
29年3月期	154,906	84,828	73,850	47.7	4,983.66

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	31.00	—	31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	79,000	7.5	4,400	△22.4	4,700	6.1	3,300	8.2	2,400	1.6	161.96
通期	162,000	3.1	11,700	△3.3	12,000	5.9	7,800	8.4	6,000	10.0	404.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	14,820,000株	29年3月期	14,820,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,479株	29年3月期	1,479株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	14,818,521株	29年3月期1Q	14,818,599株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、国内では生産・輸出は前期から引き続き増加傾向を維持し、また製造業の業況判断指数は3四半期連続で改善、さらに個人消費も上向き、為替に関しても円安傾向を維持するなど、ゆるやかな持ち直し基調を継続しています。海外では、主要な経済指標は上向きにて推移しているものの、とりわけ米国で自動車販売が前年同期比マイナスとなるなど、先行きが不透明な状態となっています。

このような環境のなか、当社グループは、国内及び海外市場における顧客からの受注増加や、合理化効果等のプラス要素はあったものの、北米における新機種立ち上がり等の集中による効率悪化とその改善のための先行経費発生等があり、当第1四半期連結累計期間の売上収益は、413億6千3百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益22億5千5百万円（前年同期比20.2%減）となりました。一方、税引前四半期利益以降は、為替相場が円安基調で推移したことで金融収支の為替差損が差益に転じ、税引前四半期利益25億2百万円（前年同期比35.0%増）、四半期利益17億9千9百万円（前年同期比54.6%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益13億4千4百万円（前年同期比64.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(日本)

前四半期に引き続き新機種、新商品立ち上げに伴う経費増があったものの、顧客からの受注増による増収効果に加え円安効果もあり、売上収益100億1千8百万円（前年同期比10.0%増）、営業損失6百万円（前年同期は営業損失1千1百万円）となりました。

(北米)

売上収益は円安効果により増収となったものの、前四半期に引き続き新機種立ち上がり等の集中による効率悪化とその改善のための先行経費発生があり、売上収益136億8千7百万円（前年同期比2.6%増）、営業損失5億6千2百万円（前年同期は営業利益7億3千万円）となりました。

(アジア)

タイにおいて自動車部品四輪の顧客からの受注増による増収があったものの、インドネシアにおいて自動車部品二輪の顧客からの受注減による減収があり、売上収益69億3百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益6億円（前年同期比22.9%減）となりました。

(中国)

経費負担増や現地通貨安の影響はあったものの、顧客からの受注増による増収効果により、売上収益149億4千9百万円（前年同期比29.1%増）、営業利益20億9千5百万円（前年同期比46.4%増）となりました。

(その他)

顧客からの受注増加に加え固定費削減効果もあり、売上収益は21億6千6百万円（前年同期比34.2%増）、営業利益7百万円（前年同期は営業損失1億8千5百万円）となりました。

(注) 上記に記載しているセグメント別の売上収益は、外部顧客への売上収益とセグメント間の内部売上収益の合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、主に現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ22億2千3百万円減少し、1,526億8千3百万円となりました。

負債につきましては、借入金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ32億2千3百万円増加し、668億5千5百万円となりました。

資本につきましては、主に利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ10億円増加し、858億2千8百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は243億4千7百万円（前年同期比30.1%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は43億9千8百万円（前年同期比71.0%増）となりました。これは主に法人所得税等の支払額による支出がありましたが、営業債権及びその他の債権の減少額や税引前四半期利益、減価償却費及び償却費による収入が上回ったものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は25億9百万円（前年同期比9.6%減）となりました。これは主に新機種投資に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は35億5千8百万円（前年同期比265.3%増）となりました。これは主に借入金の純減額や配当金の支出額等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月27日の「平成29年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、第2四半期連結会計期間以降の為替想定レートは1米ドル110円としております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2017年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	28,136	26,668
営業債権及びその他の債権	33,890	31,327
棚卸資産	23,075	23,868
その他の流動資産	2,033	2,782
(小計)	87,134	84,646
売却目的で保有する資産	327	—
流動資産合計	87,461	84,646
非流動資産		
有形固定資産	61,846	62,206
無形資産	1,164	1,120
退職給付に係る資産	729	719
その他の非流動資産	927	867
繰延税金資産	2,777	3,125
非流動資産合計	67,444	68,037
資産合計	154,906	152,683
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	38,171	37,941
借入金	18,136	16,303
未払法人所得税等	1,847	1,459
その他の流動負債	2,659	2,572
流動負債合計	60,813	58,275
非流動負債		
借入金	4,058	3,446
退職給付に係る負債	2,649	2,690
繰延税金負債	1,711	1,741
その他の非流動負債	846	702
非流動負債合計	9,264	8,580
負債合計	70,077	66,855
資本		
資本金	1,754	1,754
資本剰余金	486	486
利益剰余金	70,891	71,791
自己株式	△2	△2
その他の資本の構成要素	721	728
親会社の所有者に帰属する持分合計	73,850	74,757
非支配持分	10,978	11,071
資本合計	84,828	85,828
負債及び資本合計	154,906	152,683

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上収益	37,804	41,363
売上原価	31,165	35,096
売上総利益	6,639	6,267
販売費及び一般管理費	3,955	4,175
その他の収益	152	187
その他の費用	10	23
営業利益	2,826	2,255
金融収益	69	313
金融費用	1,042	66
税引前四半期利益	1,853	2,502
法人所得税費用	689	703
四半期利益	1,164	1,799
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△1	1
純損益に振替えられることのない項目合計	△1	1
純損益に振替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	△5,083	14
純損益に振替えられることのある項目合計	△5,083	14
その他の包括利益(税引後)合計	△5,084	14
四半期包括利益	△3,920	1,813
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	820	1,344
非支配持分	344	455
四半期利益	1,164	1,799
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	△3,698	1,351
非支配持分	△223	463
四半期包括利益	△3,920	1,813
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	55.32	90.71

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	
2016年4月1日残高	1,754	566	65,380	△2	12	
四半期利益	—	—	820	—	—	
その他の包括利益	—	—	—	—	△0	
四半期包括利益	—	—	820	—	△0	
配当金	—	—	△415	—	—	
所有者との取引等合計	—	—	△415	—	—	
2016年6月30日残高	1,754	566	65,785	△2	12	

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2016年4月1日残高	1,979	1,991	69,689	10,527	80,217
四半期利益	—	—	820	344	1,164
その他の包括利益	△4,517	△4,517	△4,517	△567	△5,084
四半期包括利益	△4,517	△4,517	△3,698	△223	△3,920
配当金	—	—	△415	△130	△545
所有者との取引等合計	—	—	△415	△130	△545
2016年6月30日残高	△2,538	△2,527	65,576	10,175	75,751

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	
2017年4月1日残高	1,754	486	70,891	△2	15	
四半期利益	—	—	1,344	—	—	
その他の包括利益	—	—	—	—	0	
四半期包括利益	—	—	1,344	—	0	
配当金	—	—	△445	—	—	
所有者との取引等合計	—	—	△445	—	—	
2017年6月30日残高	1,754	486	71,791	△2	15	

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2017年4月1日残高	707	721	73,850	10,978	84,828
四半期利益	—	—	1,344	455	1,799
その他の包括利益	6	6	6	8	14
四半期包括利益	6	6	1,351	463	1,813
配当金	—	—	△445	△369	△814
所有者との取引等合計	—	—	△445	△369	△814
2017年6月30日残高	713	728	74,757	11,071	85,828

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,853	2,502
減価償却費及び償却費	2,026	2,189
金融収益及び金融費用 (△は益)	△14	△37
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,264	2,745
棚卸資産の増減額 (△は増加)	87	△734
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	299	414
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	170	40
その他	358	△1,532
小計	3,516	5,588
利息の受取額	67	106
配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△60	△64
特別退職金の支払額	△104	△10
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△848	△1,222
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,572	4,398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△40	△39
有形固定資産の取得による支出	△2,761	△2,479
有形固定資産の売却による収入	78	29
無形資産の取得による支出	△51	△21
貸付金の回収による収入	1	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,774	△2,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△329	△1,577
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△44	△7
長期借入による収入	864	—
長期借入金の返済による支出	△786	△908
配当金の支出額	△410	△440
非支配持分への配当金の支出額	△271	△627
財務活動によるキャッシュ・フロー	△974	△3,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,457	167
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,633	△1,502
現金及び現金同等物の期首残高	21,342	25,849
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,709	24,347

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、各々の現地法人においてそれぞれ独立した経営単位であり、取締役会及び取締役会から選定された取締役によって構成される経営会議において、経営の重要事項について審議し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、地域毎に取締役本部長・担当取締役等が任命されており、担当地域の包括的な戦略の立案を統括し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントの主な地域は、以下のとおりです。

報告セグメント		主要な製品及びサービス
日本	日本	自動車部品四輪 (排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪 汎用部品 その他
北米	米国 メキシコ	自動車部品四輪 (排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪
アジア	フィリピン インドネシア タイ インド	自動車部品四輪 (排気系部品、駆動系部品) 自動車部品二輪
中国	中国	自動車部品四輪 (排気系部品、駆動系部品)
その他	英国 ブラジル	自動車部品四輪 (排気系部品)

2. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期連結財務諸表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	5,340	13,177	6,647	11,028	1,612	37,804	—	37,804
セグメント間の内部売上収益	3,767	167	644	550	2	5,130	△5,130	—
計	9,108	13,343	7,290	11,578	1,614	42,934	△5,130	37,804
営業利益又は損失 (△)	△11	730	779	1,431	△185	2,743	83	2,826
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	69
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	1,042
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	1,853

(注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

3 営業利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期連結財務諸表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	5,068	13,481	6,278	14,375	2,160	41,363	—	41,363
セグメント間の内部売上収益	4,950	205	625	574	6	6,360	△6,360	—
計	10,018	13,687	6,903	14,949	2,166	47,722	△6,360	41,363
営業利益又は損失 (△)	△6	△562	600	2,095	7	2,135	120	2,255
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	313
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	66
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	2,502

(注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

3 営業利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。